

答 申（案）

今般諮問された第6次小田原市総合計画の評価方法について議論した結果、次のとおり答申する。

本答申では、全体としては、第6次小田原市総合計画の評価方法（事務局案）を概ね妥当なものと評価し、次のとおり意見を述べることとする。

なお、本審議会で出された意見については、市当局で検討を進め、令和5年度以降に実施する第6次小田原市総合計画の評価・検証に反映し、適切に運用することを期待する。

1 外部評価について

本審議会の多様な委員構成を考慮し、各委員が施策の方向性が適切か、新たな課題に対応できるのかなど、大局的見地から、それぞれの立場で意見を述べる方法が適切であると考えます。しかしながら、附属機関として評価を行う以上、委員間での討議を経て、審議会の総意として意見をとりまとめることが重要である。

2 内部評価について

評価は、事業推進のためのものであることを念頭に、内部評価に過度に労力を掛けることがないように、その手法については、引き続き検討されたい。また、各目標値に対して各施策がどのように寄与したかについては、そうした認識を全庁的に持って評価を実施することを求める。

3 評価の活用について

評価自体を緻密に行うことに時間を要して、施策への反映が出来ないことは避けるべきである。評価の結果を踏まえた改善策については、速やかに施策に反映されたい。